

研究課題「剖検脳組織を用いた遺伝子解析による神経変性疾患および精神疾患の病態解明」に関する情報公開

2026年 3月 31日

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 剖検脳組織を用いた遺伝子解析による神経変性疾患および精神疾患の病態解明

[研究責任者] 当院 脳神経内科、神経難病研究 長谷川一子

統括責任者：新潟大学 遺伝子機能解析学分野 准教授 宮下哲典

[共同研究機関と各機関責任者名]

国立精神・神経医療研究センター・臨床検査部・高尾昌樹/佐野輝典・臨床データ/剖検脳組織の提供/データ解析 愛知医科大学・吉田眞理/岩崎靖・臨床データ/剖検脳組織の提供 松江医療センター・中島健二/古和久典・臨床データ提供 北海道大学・矢部一郎・臨床データ提供 東名古屋病院・饗場郁子・臨床データ提供 大阪大学・村山繁雄/望月秀樹・剖検脳組織提供 東京都健康長寿医療センター・齋藤祐子/荒川晶/原愛徒/村山繁雄/森島真帆/松原知康/新井富生・臨床データ/剖検脳組織等の提供/データ解析 国立長寿医療研究センターロコモフレイルセンター・赤津裕康・臨床データ提供 鳥取大学・花島律子/足立正・臨床データ提供/剖検脳組織提供/データ解析 刀根山医療センター・井上貴美子、藤村晴俊・剖検組織提供 東京都立神経病院・林健太郎、小森隆司・剖検組織提供 福祉村病院長寿医学研究所・橋詰良夫/金田大太・剖検脳組織提供/データ解析 美原記念病院・高尾昌樹・剖検組織提供 国立長寿医療研究センター分子基盤研究部・里直行/篠原充・剖検脳組織の生化学的解析/データ解析 東京大学・富田泰輔/堀由紀子/高鳥翔/木村妙子・剖検脳組織の生化学的解析/データ解析 名古屋市立大学・斉藤貴志・剖検脳組織の生化学的解析/データ解析 国立精神・神経医療研究センター・疾病研究第四部・橋本唯史/間野達雄・剖検脳組織の生化学的解析/データ解析 東京大学医学部附属病院認知症共生社会創成治療学・山田薫・剖検脳組織の生化学的解析/データ解析 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学・高木学/寺田整司/横田修・臨床データ/剖検脳組織の提供/データ解析 慈圭病院・安田華枝/横田修/三木知子・臨床データ/剖検脳組織の提供/データ解析 NHO 南岡山医療センター・原口俊/横田修/三木知子・臨床データ/剖検脳組織の提供/データ解析 きのかエスポアル病院・横田修・臨床データ/剖検脳組織の提供/データ解析 脳神経内科はつたクリニック・初田裕幸・臨床データ/剖検脳組織の提供 国立長寿医療研究センター・メディカルゲノムセンター・尾崎浩一/光森理紗・データ解析 まつもと医療センター・脳神経内科・福島和広・臨床データ・剖検脳組織の提供・データ解析 筑波大学・医学医療系・新井哲明・臨床データ・剖検脳組織の提供・データ解析 東京都立神経病院・検査科・石澤圭介・臨床データ・剖検脳組織の提供・データ解析 国立病院機構・相模原病院・神経難病研究

室・長谷川一子・臨床データ・剖検脳組織 の提供・データ解析 Mayo Clinic Jacksonville, Florida・兼清貴久・データ解析

[研究の背景]

神経変性疾患や精神疾患の多くは原因不明で治療法が確立していない疾患が数多く含まれております。このうちの一部の疾患では病因となる原因遺伝子が探索されてきていますが、病態や神経細胞が変性・脱落していく要因は十分に解明されてきていない現状にあります。

[研究の目的]

本研究では治療の甲斐もなく亡くなった患者さんで献体していただいた方の神経細胞について、疾患特有の神経細胞の変性・脱落の過程をマルチオミクス解析などにより検討します。この解析により疾患特有の病態を解明し、新規治療薬の創設やバイオマーカーの創出をおこないます。本研究は網羅的な解析を行うことにより、神経変性疾患や精神疾患の解明に寄与することを目的としております。なお、網羅的解析とは遺伝子配列解析、遺伝子発現解析、プロテオーム解析などを指し、これにより新たな病態機序の解明、治療標的となる分子の同定などを指します。また、本研究に当たっては「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（平成 29 年 2 月 28 日一部改正）を遵守いたします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

何らかの神経変性疾患に罹患した患者さんで、2000 年 4 月 1 日から本日までの間に当院で治療や検査を受けた方で、治療の甲斐もなく亡くなり、剖検をされた患者さんで他施設との研究参加に同意され患者さん

●研究期間： 本研究の研究実施許可日から 2029 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：剖検検体

カルテ情報：診断名、発症年齢、性別、罹病期間、神経所見、検査結果（血液検査、画像検査、生理検査）など

●検体や情報の管理

剖検検体や検査に必要なカルテ情報は、匿名化した後に研究する機関である新潟大学脳研究所に適切な方法で提出し、検査されます。余剰した検体については剖検時にバイオバンクへの移行も許可された方については適切に研究機関で保存されます。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は厚生労働省関連研費、AMED 関連研究費、文部科学省関連研究費を用いて実施されます。この研究における研究者の利益相反^{*}については、当院もしくは新潟大学の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究者の利益相反については、それぞれが所属する機関において、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正か

つ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号と故人の名前を結び付ける被験者リストを当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。被験者リストは、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である新潟大学脳研究所が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、故人の剖検に同意いただいた方の御意思で決められます。この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどで故人のデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[遺伝情報の開示について]

本研究での遺伝子解析により得られる情報は探索的なものであり、疾患の診断や発症予測との関連性は不明であります。このため、本研究で得られた遺伝情報を開示することは原則的にございません。ただし、偶発的所見（二次的所見）を含め、遺伝子解析の結果が提供者や血縁者に臨床的に重要な影響を及ぼしうる明確な結果が得られた場合には、新潟大学遺伝子倫理審査委員会および相模原病院倫理審査委員会に報告し適切に対応いたします。

[遺伝カウンセリングの必要性及びその体制]

本研究では解析結果を原則的に開示しないため遺伝カウンセリングが必要になる状況は少ないと考えられます。しかし、被検者のご家族から遺伝子カウンセリングの希望があった場合には、研究代表者もしくは剖検を取得した担当医が対応し、必要に応じて遺伝カウンセリングを提供します。

10. 本研究について、問い合わせ先、苦情等の受付先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究に個人のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

○問い合わせ先

新潟大学 遺伝子機能解析学分野 准教授 宮下哲典
〒951-8585 新潟県新潟市中央区旭町通 1-757

当院問い合わせ先

国立病院機構相模原病院 脳神経内科・臨床研究センター神経難病研究室 長谷川一子

電話 042-742-8311 (代表) FAX 042-742-5314

TEL : 042-742-8311